

## 性的マイノリティ(LGBT等)への支援をはじめました！

### ―神奈川県を取り組み

神奈川県では、性的マイノリティ(LGBT等)の方々が「自分らしく」生きることができるとして、本庁舎レインボーライトアップや九都県市が連携した配慮促進キャンペーンなど、広く県民の方々を対象とした啓発事業に取り組んできました。



レインボーライトアップの様子

ていきます。相談申込先は県人権男女共同参画課(045-210-3637)まで。

### ②性的マイノリティ交流会

#### 「かながわ にじいろトーク」

学校現場でのいじめや就職差別などの悩みを抱える10代、20代の性的マイノリティの方々を対象とし、テーマを決めて毎月1回交流会を実施します。

このたび、性的マイノリティの当事者や関係機関などへの直接的な支援として次の事業を実施し、性的マイノリティの方々が抱える悩みや問題の解消を目指します。

### ①性的マイノリティに関する派遣型個別専門相談「かながわS.O.G.派遣相談」

性的マイノリティ当事者またはその家族、当事者から相談を受けている支援者(教員、相談機関職員等)からの要望に応じ、臨床心理士など専門相談員を当事者や支援者などのもとに派遣する取り組みで、相談者の悩みの解決や緩和を図つ

### かながわ にじいろトーク

- 開催場所 藤沢駅から徒歩圏内の公共施設
- 日時及びテーマ(※現在決定分)  
7/22(日)セクシュアリティ  
8/25(土)恋人、パートナー  
9/16(日)将来、ライフプラン  
10/13(土)周りとの付き合い方  
いずれも14:30~16:30
- 申込先 県指定特定非営利活動法人SHIP  
☎045-306-6769(水・金・土曜  
16:00~21:00、日曜14:00~18:00)  
🌐http://www.ship-web.com

### ③中小企業の人事担当者向け研修会「企業とLGBT〜すべての人が自分らしく働く職場づくり〜」

中小企業の人事担当者などを対象に、性的マイノリティの当事者の方を講師に迎え、講義とワークショップによる研修会を県内2会

場で実施します。

### 中小企業向け研修会

- 開催日時・場所・定員・受講料  
9/6(木)かながわ県民センター  
9/13(木)平塚市教育会館大会議室  
14:00~16:00、定員各60名、40名  
受講料無料
- 申込先 県人権男女共同参画課  
☎045-210-3637  
FAX 045-210-8832  
MAIL fm0216.s8c@pref.kanagawa.jp

### ④児童養護施設の職員に対する研修会

児童養護施設の職員などを対象に、性的マイノリティの当事者の

## 自分のお墓を生前から市に登録しませんか 「わたしの終活登録」―横須賀市で全国初の試み―

横須賀市では5月より終活情報登録伝達事業(通称「わたしの終活登録」)を開始しました。墓の所在地や遺言書の保管場所、緊急連絡先などの11項目を登録カードに記載し、横須賀市に預ける仕組み。

全ての項目に回答する必要はなく、自由記述欄もあります。市民であれば誰でも登録でき、費用は無料。認知症などの事情がある場合は、一部の項目は、後見人や親族、知人でも登録できます。登録カードの情報は市が管理

方を講師に迎えて研修会を実施し、性的マイノリティの子どもたちを受け入れる際の対応や、性的マイノリティの子どもたちが「自分らしく」成長できる環境づくりへの支援を行います。

この他、性的マイノリティに関して県が行っているさまざまな取り組みについては、左記の県のホームページからご覧いただけます。  
(http://www.pref.kanagawa.jp/docs/fz3/cnt/f430243/) (県人権男女共同参画課)

し、個人情報漏洩を防ぐために書面のみで保管されます。

登録者が亡くなった時、及び認知症や意識障害など登録内容を伝えられなくなった場合に、警察署、消防署、医療機関、市福祉事務所の4機関と事前に指定された人へ、項目に応じて情報を開示します。緊急連絡先の分からない市民が倒れたり亡くなったたりした場合には、市役所に連絡が入るため、登録者の意思を登録カードにより伝えることができます。

# 福祉のうごき

2018年4月26日～5月25日

Movement of welfare

## ●国民の60%が「社会のために役立ちたい」

内閣府が4月に発表した「社会意識に関する世論調査」の結果で、国民の3人に2人が「何か社会のために役立ちたい」と思っていることが分かった。役立ちたい内容は、福祉活動(39%)、町内会など地域活動(31%)、自然・環境・保護活動(29%)が多かった。

## ●AI(人工知能)で保育所入所選考の動き

煩雑な認可保育所の入所選考を、市区町村の職員の代わりに人口知能(AI)に任せる動きが始まった。実験では手作業で50時間かかっていたのが数秒で終了。申込者に早く結果を伝えられるほか職員の負担が軽減され、住民サービスの向上が期待されている。

## ●こども宅食 貧困世帯等にぬくもりを運ぶ

生活が苦しい子育て世帯に食べ物を届ける「こども宅食」が注目を集めている。2017年秋に東京都文京区で始まり、同様の取り組みが広がりを見せる。同区と一緒にこの事業を運営している特定非営利活動法人が「食堂形式では困っている人が必ずしも来るとは限らないが、宅配は確実に届く」と文京区に提案し、宅配事業が始まった。

## ●引きこもりの自助グループが全国組織設立

全国の引きこもりの当事者や支援者らがこのほど特定非営利活動法人を設立した。孤立を防ぐため、生活や雇用の情報を提供したり、相談窓口を運営したりする。同法人によると、引きこもり当事者による初の全国組織という。名称は引きこもりの人同士をつなぐ趣旨から英語で「結び」を意味する「Node(ノード)」

### 【登録できる人】

横須賀市民で希望する人

### 【登録できる内容】

※本人の意思で、追加・削除も含め自由に選択可

- ①本人の氏名、本籍、住所、生年月日
- ②緊急連絡先
- ③支援事業所等
- ④かかりつけ医師やアレルギー等
- ⑤リビングウィルの保管場所・預け先
- ⑥エンディングノートの保管場所・預け先
- ⑦臓器提供意思
- ⑧葬儀や遺品整理の生前契約先
- ⑨遺言書の保管場所とその場所を開示する対象者の指定
- ⑩墓の所在地
- ⑪本人の自由登録事項

### 【問合せ先】

横須賀市福祉部

生活福祉課

☎046-822-8070

近年都市部では、ご本人が倒れた場合や亡くなった場合に、生前に用意されていた終活ノートの保管場所やお墓の所在地が分からないことが起きています。それによりやむなく無縁納骨堂に安置される遺骨が増加し、子どものいない夫婦の場合など、先立った配偶者の墓の場所が分からず、後に亡く

なった方の遺骨を無縁納骨堂に収めるケースさえ発生しています。横須賀市は2015年度より「エンディングプラン・サポート事業」として、身寄りがなく収入や資産の少ない高齢者を対象に生前の意思に基づき葬儀や納骨の準備を支援する事業を行ってきました。今回は、全ての市民の終活努

力に報いることとしたものです。高齢者が増える中、亡くなられた後に身元や引き取り手が分からない事態を減らすことも狙いとしています。それだけではなく、死後の尊厳を守ることにより生前の暮らしに安心感をもたらすことが期待されます。

(企画調整・情報提供担当)

## やさしさのおくりもの

(地域福祉推進担当)



## ♥『チャリティーきゃらばん』日産労連NPOセンター「ゆうらいふ21」♥

日産労連では、1976年に組合員が毎月100円を積み立てる「福祉基金」を設立しました。その基金を活用して子どもたちに生の舞台を見てもらい「夢と感動」を共にしたいとの思いから、施設で上演する「チャリティーきゃらばん」を実施しています。今年(特非)おはなしキャラバン「つばさ」による『はらぺこ坊やホップくん』と『家つかいソムポット』の人形劇を、県内の児童福祉施設4カ所で行いました。劇がはじまると人形たちの活躍や劇団員の楽しいお話に、子どもたちはもう夢中に。リズムに合わせ一緒に踊ったり、大きな声で呼びかけたり、会場が一体となった楽しいひとときを過ごしました。公演が終わると人形たちが見送りをしてくれ、子どもたちの笑顔いっぱい思い出になりました。



「チャリティーきゃらばん」は今年で30周年を迎え、観劇者数は延べ40万人を超えました。